

公益社団法人 東大和市 シルバー人材センター広報誌

け や き

〒 207-0015 東大和市中央3-912-3
電話 042-565-0531 FAX 042-566-2308 <https://www.silver-center.org/>



◆ 就業相談日 日程表	8
◆ センターの今後の予定	8
◆ 市内探訪	7
◆ 7月は安全・適正就業強化月間	6
◆ 配分金に含まれる消費税について	6
◆ 職場訪問	6
◆ 私のふるさと(津和野町)	5
◆ 会員寄稿	4
◆ 各委員会報告	3
◆ 会員の表彰	2
◆ 新任理事の紹介	2
◆ 令和4年度定時総会開催	2

正会員数	
(6月1日現在)	
男性	427名
女性	169名
合計	596名

令和4年度 定時総会開催

令和4年6月22日（水）13時よりハミングホールにおいて、令和4年度定時総会が開催されました。会員数595名の内、出席者総数494名、内訳は会場出席者29名、委任状提出者440名、議決権行使書提出者25名でした。今年度の定時総会は、昨年引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、委任状または議決権行使書の提出をしていただき、会場入場者数をできるだけ少なくした中で行われました。



会長挨拶写真

立石孝義会長からの挨拶の後、会長が仮議長に就任し開会が宣言されました。その後、定足数の確認、議長に立石会長が選任され、議事が進行されました。今年度の総会では、次の3件の案件について議事が進められ、原案どおり承認可決されました。

一、議事事項

- ①第1号報告
公益社団法人東大和市シルバー人材センター
令和3年4月1日から令和4年3月31日までの事業報告の件
- 二、決議事項
- ①第1号議案
公益社団法人東大和市シルバー人材センター
令和3年4月1日から令和4年3月31日までの計算書類等の承認の件
- ②第2号議案
公益社団法人東大和市シルバー人材センター
理事1名の選任の件
- ③第3号議案
公益社団法人東大和市シルバー人材センター
定款の変更の件

令和4年度定時総会において佐藤秀一理事が選任され、任期中の10名と合わせて11名の理事、任期中の監事2名を含めた13名の役員体制となります。

【理事】

- | | |
|-----------|-------|
| 窪田 進 | 立石 孝義 |
| 田中 雅城 | 峯 信夫 |
| 佐藤 秀一(新任) | 遠藤 孝 |
| 小林 巳喜雄 | 中原 拓三 |
| 福田 一彦 | 広沢 光政 |
| 川口 莊一 | |

【監事】

新任理事の紹介

- 佐藤 光一
- 島井 赳

令和4年度定時総会において理事を辞任された綿貫一成氏の後任として佐藤秀一氏が選任されました。第5地区を担当いたします。



新任の佐藤理事

会員の表彰

令和4年度会員表彰として次の会員の方が表彰されましたのでご紹介いたします。

①役員表彰

センターの役員を継続して3期以上在任したもののうち、退任した方（敬称略・入会順）
小林 正和

②会員表彰

平成24年4月から令和4年3月の10年間に70%以上就業した方（敬称略・入会順）
川野辺清三郎 入山 弘之

③会員表彰

令和4年3月現在、それ以前に5年間継続して就業した年齢80歳以上の方（敬称略・入会順）
渥美 英男 種村 洋平
本山 千代子 古賀 兼行
佐藤 雅道 野村 孝子
長澤 龍男 松本 芳久
金沢 明 杉浦 洋子
佐藤 浩 阪本 登
長谷川 実 河村 弘章
小野寺 央幸 井口 一男
川崎 光江 早間 富枝

磯貝 隆平 平澤 利夫
金井 忠一 中原 拓三
小林 巳喜雄 種村 洋平
小田部 光行 笠松 勝州
高野 織子 大村 智一

以上の方が表彰されました。誠にありがとうございました。今後とも、益々のご活躍をお祈り申し上げます。

なお、例年では定時総会終了後に会員表彰式を行っていましたが、昨年度に続き今年度も、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とさせていただきます。表彰状と記念品をお送り致しました。

各委員会報告

総務委員長 峯 信夫

総務委員会は、一昨年より続く新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、各行事を中止してまいりました。

今年度の事業につきましては、**①健康増進事業の「ウォーキング」**を来春の花見を兼ねてのコースを予定しております。

②「健康の集い」は、開催場所、時期、講演内容等を検討しております。

③「会員交流会」につきましては、今年度は中止とし、内容を再度検討します。

④「会員作品展」は、開催時期等を検討し開催する予定です。

いずれにせよ、コロナ感染の状況を注視し、会員の安全第一を考慮して、「自主・自立」「共働・共助」の基本理念のもと、シルバ―人材センターの発展と地域への貢献を高めるために一層努力して行きたいと思っております。

各行事が無事に開催された際には、会員の皆様のご参加とご協力を宜しくお願いいたします。

事業委員長 田中 雅城

昨年度はコロナ禍により多くの事業活動が中止となったが、感染状況も落ち着いてきたので、今年度は「ウイズコロナ」の方針も踏まえて、感染防止対策をしっかりと講じた上で活動していく予定です。

今年度の委員会にて再確認した主な活動予定は以下の通りです。
①事業委員会…毎月の第二火曜日14:00。

②新入会員研修会…毎月の理事会の翌日に開催。

③接遇研修会…外部講師「アップグロース社」に二日間（午前・午後）計4回で委託予定。

④就業相談…例年通り毎月第三火曜日に開催予定。

⑤就業開拓…企業表敬訪問を中心に、追加受注などの深堀をしていく。市内各所へ仕事受注のポスター・チラシを設置予定。
⑥事業報告会…開催目的を見直し、内容については今後討議を重ねていく。

⑦委員会の構成…田中理事（委員長）、小林理事（副委員長）、村林・大澤・木川（新任）の各委員。
*以上、会員及び役員の皆様のご協力を宜しくお願い申し上げます。

広報委員長 遠藤 孝

3年続きのコロナ感染症は終息する気配もありません。

昨年度は、例年参加しておりましたうまかんべえ祭、道路美化清掃の行事を中止致しました。福祉祭だけはリモートで実施され、会員の皆様のご厚意によりご寄付いただいた品々を社会福祉協議会に寄付させていただきました。

今年度の事業につきましては、**①当センターの広報誌「けやき」**の発行を年4回予定してまいります。

②道路美化清掃については7月以降の委員会にて新たなコース設定の詳細について検討を進めてまいります。

③福祉祭参加については、社会福祉協議会にて詳細が決まり次第お知らせいたします。皆様のご協力を宜しくお願い致します。

いずれにしても、コロナ感染症が一日でも早く終息することを祈るのみです。このような時期ですので、皆様には健康に十分留意されてお過ごしください。

安全管理委員長 中原 拓三

安全管理委員会では新年度に入り以下の活動を行いました。

①安全就業パトロール実施
実施日：5月12日（木）
対象職群：植木班

場所：市内清水 民間宅

②令和4年度健康診断受診調査
調査票6月1日配布、6月30日提出期限

③安全だより44号発行準備
安全就業パトロール実施報告、健康診断受診調査結果報告等、発行は7月末予定。

④今年度の各種安全講習会について
・熱中症予防講習会
・応急救護訓練
・転倒予防講習会
などを計画しておりますが、日程、講師派遣依頼、参加者数の調整など具体的な内容については今後詰めてまいります。
決定次第、会員の皆様にお知らせいたしますので、参加を宜しくお願いいたします。

会員寄稿

我がふるさと（荻窪のこと）

桜が丘B班 矢村 勇

昭和23年11月23日の深夜、4年と数ヶ月過ぎた疎開先の群馬県北牧を発つ。

トラックの荷台の両側に家財道具をたて、隙間に家族7人布団にくるまり、板橋の検問所も無事通過、翌24日早朝、杉並区清水町の「日銀寮」に着く。穏やかな陽がガラスの窓からさしている。母がガスコンロでご飯をたく、初めて目にするコンロの火、おかずは近くの酒屋で佃煮を買う。親戚の葬式以来久しぶりの白米のご飯がうまい。

だれに気兼ねすることもなく、今は疎開先での伯父や伯母の蔑むような視線もない。「日銀寮」は2階建て4軒長屋、私は階段が珍しく何度も上り下りを繰り返して楽しむ。数日後、荻窪駅迄歩いて行きかう。駅の北口で、復員服戦鬨帽をかぶった傷痍軍人が松葉杖を付き、首から募金箱を下げもう一人がアコーディオンで「異国の

丘」を弾いている。

父がやっとの思いで手にした闇の米、その闇市も昭和26年4月22日に火災を起こして全店舗消滅、現在バスのターミナルになっている。私が若杉小学校に転入したのは、12月のはじめ頃か記憶が定かでない。祖末な服装、疎開先の怪我がもとで、頭にできた大きな傷あと。最初はもの珍しげに皆、私を観察していたが、私への苛めが始まる。ある日クラスのカギ大将Mが相撲を取ろうと私に言う、疎開先はどこに行くにも徒歩、母と里山に焚き木を取りになん里も歩く。そんな日常が足腰を鍛えていたのかもしれない。Mを簡単に打ち負かす。その日以来、苛めは嘘のようになくなる。

日常の食生活は相変わらず貧しく、たまのごちそうといえど肉のないカレーライスや1個5円のコロケなど、そんな私にとって、皆が嫌う脱脂粉乳のミルクが大好きで何杯もおかわりした。理由は定かではないが、小学校卒業時クラス一番の身長となっていた。夏、原っぱで少年相撲大会が開かれる。私は毎晩参加して3人抜

きをし、賞品のノートや鉛筆を貰う。ある夏、その様子を父が見ていて、荻窪の白山通りにある「のんき」で中華そばをごちそうしてくれた。正直世の中にこんな旨いものあるのかと、スープを一滴も残さず飲み干す。その父も私が5年生の時に53才の若さで他界。相撲の会場となったその場所は今、杉並公会堂となっている。

その当時、NHKのラジオでは戦争で離ればなれになった人達の情報、戦地から未だ戻れぬ人達を探す「尋ね人」や「昼の憩い」は70年経た今も続いている。民放でプロレスが放送されると、「大久保電気店」の前は黒山の人だかり、近くの四面道の交番からお巡りさんが交通整理に出る始末。その交番も、環状8号線の拡張に伴い、いつの間にかなくなった。

妙正寺や妙正寺川が懐かしい。あの頃両岸に水草がしげり、鮒やクチボソが泳ぎ、夏は蛍が飛び交うのどかな田園風景が広がっていた。凧糸にスルメの足をしばり水に垂らせばエビカニが面白いように釣れた。その季節になるとやかましい程のウシガエルの鳴き声。

今でも唱歌、春の小川のメロディを聴くと、当時の風景や、仲のよかった友達の影響がうかがふ。高校生になると幾度となく散策し短歌を詠んだ。妙正寺川の下流から、「奥津城は野末にありてさびしきを陽おつるかたに黒々とみゆ」を詠み「蛍雪時代」に投稿するが掲載されることはなかった。教会通りの喫茶店「赤い屋根」西口の「ダダ」や古本屋にもよく通っていた。

高校卒業後、荻窪振興マーケット内にある、室内装飾業の会社に入社、のちに「荻窪振興マーケット」が昭和56年、タウンセンター模倣替え、雨の日にはびしょ濡れになるマーケットが立派なビルに変身。私は建築士として、タウンセンター内の店舗設計やエスカレーター周りのデザインを手がけた。

小学生の頃、親友と幾度も通った照楽園、振興マーケット時代の魚信、魚耕の店員の客を呼び込む威勢のよい声、千円札を握り通った南口のバー街、中央線の陸橋を登って来る都電、廃校になってしまった「若杉小学校」。

「春雷や昭和は遠くなりけり」

私のふるさと(津和野町)

湖畔班 田中 雅城

私のふるさとは島根県津和野町です。終戦後、父が蒙古(モンゴル)で捕虜となっていたので、帰還するまでの間(5歳ごろまで)私たち一家は母の実家である津和野町で暮らしました。

津和野町は美しい町並みと町の中心を津和野川が流れ、町の至る所に水路が張り巡らされており、多くの家庭で鯉が飼われています。また良質な水の産地としても有名で、湧水を利用した造り酒屋が多くみられます。

山間の小さな町ですが、近年「山陰の小京都」とも呼ばれて観光地としても有名になってきました。

「乙女峠」というところにキリシタン殉教の地で知られる「マリア聖堂」があります。私が水路に落ちて危うく溺れ死にしそうになった時、通りかかったシスター(修道女)が私を引き上げて助けてくれたそうです。そんなわけで、私は神に救われた御子となり、今日を迎えることが出来ました。

一、《坂崎出羽守(さかざきでわのかみ)と千姫事件》

この水路は防火用水として、関ヶ原の戦いの後に城主となった坂崎出羽守が築いたものです。一六一五年大坂夏の陣では、燃えさかる大坂城から家康の孫の千姫を救い出しますが顔に大火傷をします。このため千姫は秀忠に嫁いでしまい、家康が約束した千姫を嫁にもらうことが叶わずに徳川家に恨みを抱いたまま自刃したという逸話が残っています。

二、《案山子(かかし) さだまさし作曲・唄》

歌手の「さだまさし」が津和野を訪れた際に、城跡から町を見下ろしながら作った曲が「案山子」です。「元気でいるか? 街には慣れたか? 友達出来たか?」という歌詞で、田んぼにポツンと一人で立つてる案山子を見て、都会に出た息子を思う父親の気持を謳った名曲です。泣ける歌詞ですが町の風景も描写されており、ウチのバンドのレパートリーでもあります。

三、《津和野が輩出した偉人達》

①森鷗外：明治の文豪で、軍医と文人の二刀流でもあった。45才で陸軍軍医総監となり、作家と

しては「舞姫」「山椒太夫」などが有名。

②西周(にしあまね)：哲学者・啓蒙思想家で「哲学」「心理学」などの言葉を作った。幕末から明治にかけて活躍し、福沢諭吉らと共に文明開化に貢献した。

③坂崎出羽守：城主として津和野の礎となる治水や街並みの整備を行った。

④その他：小藤文次郎(地質学者)、中田瑞穂(脳外科の発展に寄与)、伊沢蘭奢(松井須磨子亡き後の新劇を支えた女優)など。

室生犀星の詩で有名な「ふるさと」は遠きにおいて思ふもの



城跡からの津和野町



水路のある町並み



マリア聖堂



森鷗外像

ではありませんが、私は津和野を出てからまだ一度も戻ってはおりません。いつかは一人の旅人として「ふるさと津和野」を訪れて、幼き日のおぼろげな記憶を辿ってみたいと思います。

職場訪問

『桜が丘市民センター管理班』

今回は玉川上水駅近くの、桜が丘市民センターで就業されている3名の方にお話を伺いました。

仕事の内容は、集会所(2部屋)の貸出管理、図書館、児童館、共有部分の点検が主な作業です。また、コロナ禍で共用部分の消毒も行います。

就業時間は、平日・土曜が16時45分～22時15分、日曜・祝日が8時30分～17時と17時～22時15分の交代になり、3名で日曜から日曜までの8日間のローテーションで就業します。休みは年末年始、選挙の投票所として使用される閉館日です。

集会所の利用団体は約30グループです。平日・土曜は2グループ、休祭日は6グループの「趣味の会」が利用します。退館時に「ありがとうございますございました」と挨拶してくれるグループがあり、そんな時は嬉しくなることもあるそうです。大変な事は、22時まで集会所が利用できるため、グループの利用が終了してから退館までの15分で、

手際良く最終点検を行う必要があります。また、集会所にゴミが放置してあったり、備品の後片付けがされていない場合は、気が滅入ってしまうこともあるそうです。皆さんのコミュニケーションは大変良い様子で、お話しも明るく

楽しく聞かせていただきました。今後も元気で長く仕事を続けていただきたいと思います。



桜が丘市民センター



受付する山崎会員



点検する山崎会員



点検する伊藤会員



消毒中の坂庭会員

配分金に合わせた消費税について

請負契約で就業される会員の皆さんは個人事業主であり、センターから支払われる配分金には、内税として消費税が含まれています。シルバー人材センターの会員は、個人事業主という扱いで仕事をしていますので、本来、消費税納税義務者になり、受け取った配分金に係る消費税は、税務署に申告納税する必要があります。

しかし、消費税法上、課税売上として受け取る金額が1千万円未満であるため、納税の義務が免除(免税事業者)されています。

令和5年10月より、消費税法改正で「適格請求書等保存方式(インボイス制度)」の導入が予定されており、会員さんが受け取る配分金の取り扱いについて、変わる可能性があります。

今後の動向については、改めてお知らせいたします。

7月は安全・適正就業強化月間

国の「全国安全週間」にあわせて、7月を「安全・適正就業強化月間」に定めています。より一層の事故防止に努めてください。

市内探訪

旧吉岡家住宅と吉岡堅二画伯の作品を3年ぶりに一般公開

旧吉岡家住宅と吉岡堅二の作品が、5月27〜29日の3日間、一般公開されました。東大和市では建物や資料の保存管理を行い、毎年5月と10月に一般公開を行っています。新型コロナウイルスの感染防止のため、5月の公開は3年ぶりでした。

吉岡堅二画伯が創作活動を行っていた当時の面影を残すアトリエや、日本画・素描・画帳が約20点同時にボランティアが管理している庭も公開されました。

吉岡画伯は一九〇六（明治39）年に東京市本郷区に生まれ、24歳で帝展特選となった後、新日本画研究会や新美術人協会を結成し、戦後は創造美術（現在の創画会の前身）を結成するなど、昭和期における日本画の革新運動を牽引。一九七一（昭和46）年には日本芸術院賞を受賞され、東京芸術大学の教授でもありました。

旧吉岡家住宅は、法隆寺金堂壁画の再現模写に携わった吉岡堅二画伯が昭和19年にこちらに疎開して平成2年に亡くなるまで、46年

暮らした家です。地元で代々名主を努めていた池谷藤右衛門（いけやとうえもん）が明治中期に建てた家でしたが、堅二が買い取り自宅兼アトリエとして移住しました。現在は東大和市が所有し、主屋兼アトリエ（旧吉岡家住宅の土間を改修）、蔵、長屋門（東村山から移築・復元）、中門が国の登録有形文化財（130375-0378号）として保存管理されています。



閉門時の長屋門



旧吉岡家住宅の特別公開（長屋門）



蔵横のけやき巨木



池谷藤右衛門が建築した蔵



吉岡家旧宅の主屋



屋敷内のけやき巨木

珍しい欄間→



アトリエ



屋敷内の神棚・居間・台所



登録有形文化財商標



画伯の使った鳥かご

センターの今後の予定				※今後、新型コロナウイルス感染症拡大の状況により予定を変更する場合があります。
月	日	曜日	時間	内容
7	13	水	9:00	入会説明会
	19	火		配分金振込日
	19	火	予約制	就業相談日（下の表を参照ください）
	20	水	9:00	入会申込日
	28	木	9:00	定例理事会
	29	金	9:00	新入会員研修会
8	10	水	9:00	入会説明会
	16	火	予約制	就業相談日（下の表を参照ください）
	17	水		配分金振込日
	17	水	9:00	入会申込日
	25	木	9:00	定例理事会
	26	金	9:00	新入会員研修会
9	14	水	9:00	入会説明会
	20	火		配分金振込日
	20	火	予約制	就業相談日（下の表を参照ください）
	21	水	9:00	入会申込日
	29	木	9:00	定例理事会

入会説明会に参加を希望される方は、前日までにシルバー人材センターまでご連絡ください。電話042-565-0531



就業相談日		相談時間帯
2022年 7月19日(火)	2022年12月20日(火)	①14:00 ②14:30 ③15:00 ④15:30 ⑤16:00 各時間1名
8月16日(火)	2023年 1月17日(火)	
9月20日(火)	2月21日(火)	
10月18日(火)	3月22日(水)	
11月15日(火)	-	

● 申し込み期限は各月第2火曜日までです。電話 042-565-0531

● 申し込みはセンター窓口で事前予約をしてください。

● 申し込みは各月第2火曜日までです。電話 042-565-0531

**就業相談を
実施しています。**

編集後記

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、年初からまん延防止等重点措置が発出され、昨年度に引き続きセンターの各種行事や委員会活動が制限されています。その中で、広報委員会も十分な取材活動が出来ませんでした。結果、限られた記事ですが何とか発行することが出来ました。会員の皆様に楽しんで読んでいただけたら幸いです。

会員の作品・投稿募集

会員の皆様の作品・投稿を募集しております。作品（写真・絵画・彫刻書・手芸など）紀行文・川柳「私のふるさと」投稿等、何でも結構です。文字数等の投稿要綱は当センターのホームページの会員ページ（広報誌「やき」）を参照のうえ、写真を添付して、郵送、持参、電子データのいずれかでご提出ください。掲載させていただいた投稿には、お礼を申し上げます。会員の皆様の投稿をお待ちしております。